

# エコパーク通信

平成29年  
4月号

エコパークに寄せて  
大澤 かつ子 (エコクラブ会員)

エコパークへ行くと植物が多いこと、これには驚くばかりです。7000坪の園内は、次から次と何かしらの花が咲いています。それらの花は、富士山こどもの国、青森県の知人から送られてきた花、また会員から寄付された花などです。手をかけ、心を込めて手入れしているから、いつでもきれいに咲いているのだと思います。

自然いっぱいのエコパークで、色々なイベントが催されてきました。私は「焼き芋大会」、多肉植物を活ける【体験学習】、Tシャツに草木を利用して染めた、「ドンブチ染め(地元御前崎での染め方)」などの楽しい行事をさせていただきました。皆さんもこんな近くにあるエコパークで仲間づくりをしませんか。

園内には、「寄せ植え」「植木鉢」「ビー玉」などが展示されています。また花小屋は、いっぱい写真(800枚位)が見事です。春らしい陽気の中、ほのかな香りがする花の咲く中で、食べるおむすびは、おいしいでしょうね。昔を思い出して木登りをしたり、ハンモックに乗ってみてはいかがでしょうか。

孫たちは御前崎に来ると、広くて安全なエコパークへ遊びに行きます。「リュウゼツラン」の花が咲いている場所で、写真を撮って1年がたちました。園内は、花の名前、実のなる木、説明看板が付いていて理科の勉強に役立っています。園内ノートには、「楽しかった。又々来たくなりま〜す。」と書きました。



タマスタレ



ディモルフォセカ



コデマリ



ナノハナ



フキノトウ



ホトケノザ



ハーデンベルギア



マーガレット

御前崎エコクラブ会長  
山本 貴美枝

御前崎港管理事務所